



春頌

それいゆ 広報

Vol.116

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター ベル
TEL0577-36-7077
- Dr.Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- ヘルパーステーション レザミ
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166

新年あけましておめでとございませう。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年一年間で十五歳から六十四歳までの人口が九十九万人減少したようですが我が国はかつて過去に経験のない超高齢社会に突入しており今後高齢化率はいっそう加速されると予想されます。

それに伴って色々な社会的経済的問題が生まれています。人口減少の主因である少子化対策は喫緊の問題ではありませんがその原因は究明されていません。将来の労働力不足を予防するためには早急に出産率を上げる根本的解決策の実現が必要で

す。総人口の四分の一を占める高齢者対策も重要な問題です。高齢者をはじめ各世代の家族が元気に暮らせるようにということで一億総活躍が表明されましたが内容が充分ではありません。

高齢者が安心して自分の人生を全うするためには医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが総合的にしかも一体的に供給される制度の確立が必要です。医療法人同仁会では昭和町二丁目のメデイケアガーデン内に自立した人、要介

護状態の人さらには最期の療養、看取りの必要な人も受け入れることのできる施設を併設しました。

折茂医院を核として、訪問看護、訪問介護、ケアプランセンター、ショートステイ、小規模多機能施設、有料老人ホーム、サ高住、デイサービス、認知症デイサービス、リハビリジム、さらに病児保育を併設しています。自立支援のためのリハビリをはじめ、注射点滴、経管栄養、気管吸引、創傷処置、疼痛管理、終末期まで医療、看護、介護、福祉、すべての視点から総合的に対応できる体制作りをしています。

また、昨年は中山町に小規模多機能居宅介護施設を開設しました。近年ではこれらの事業所が力を合わせた、夏祭り、クリスマス会、年末の餅つき、文化祭、コンサート等を通じて地域の皆様との交流を深めています。

桐生町四丁目にある在宅復帰支援の介護老人保健施設それいゆも含め、法人全体で一丸となって地域の皆様のニーズやいきがいにお役立ち出来るよう、一層の努力をさせていただきます。どうぞ本年もよろしくお願い致します。

（この欄は上記の文章と重複する内容のため省略）



医療法人同仁会
理事長 折茂謙一

新年を迎えて

折茂謙一

第二十六回

全国介護老人保健施設大会神奈川in横浜

「高齢者が輝く未来をお洒落に！スマートな連携！」

平成二十七年九月二日～四日

看護介護部二階 介護職 舟坂直樹

この度、全国老健大会において、それいゆで実施した研究報告を行いました。

今回私が発表をした研究の表題は「レクリエーション運営の見直しと実践」という事で、経験や得手不得手意識の差で生じるレクリエーション内容の質のムラを改善し、目的意識を持った進行ができるよう進行台本を作成し、それを基にレクリエーションの運営を行いました。また全員が参加でき、季節感を感じられるように、合唱のカラオケ音源を制作し、音楽に触れる機会を多く設けました。最初は台本を意識してしまい、ぎこちなくなる事や、利用者様に伝わり難い事もありましたが、徐々に進行の骨組みを理解し、一つ一つの言葉の意味を考へる事で自然な進行ができるようになり、利用者様にもレクリエーションの意義を伝える事ができるようになりました。また、合唱の際は特に利用者様の反応が良く、自然と笑顔も多くみられるようになりました。他の発表内容は音楽療法を取り入れた活動が多く、今後のレク活動のさらなる見直しのヒントを得る事ができました。

レクリエーションは生活や心を豊かにするだけではなく、身体や脳の活性化にも繋がります。今回の経験を活かし、さらに有効で豊かなレクリエーション運営を行なっていきたいと思います。

大会参加を通して、普段の業務の中で当たり前になってきている事を客観的に見直す事の大切さを痛感しました。また、今後加速していく高齢化社会を支える一員としての責任とやりがいを持って、日々の業務に携わっていききたいと思います。



右：舟坂

第二回

学習療法

実践研究シンポジウムin幕張

看護介護部二階 介護主任 高ノ山優子
学習療法マスター

十一月一日、千葉県の幕張メッセに於いて学習療法のシンポジウムに参加しました。当日はハロウィンと重なり都内や会場でも仮想をした人々が行きかう中で、全国各地より施設、事業所、脳の健康教室などから多くの事例報告やポスター発表があり、ハロウィンと違う盛り上がりを感じ、大きな刺激を受けてきました。失語症や前頭側頭葉型認知症の方との学習療法の取り組みや、学習時間開始前後のパズルの組み立て方の違いの動画は印象に残っています。

当施設では、学習者が老健を退所し、法人内事業所（ショートステイそれいゆ・シャロンド）それいゆ・りあんどそれいゆ）を利用される場合には、引き続きいつもと変わらない学習が行えるよう、法人内の情報交換を密にし、環境を整えて取り組んだ内容を「毎日の積み重ね」と題して発表しました。

《取り組み内容》

- ・学習療法委員会にて他事業所と情報共有する
- ・学習者の退所先を把握し、学習目標・教材等がスムーズに引き継げるよう経路を明確にし、周知する
- ・学習サポータースタッフ研修を随時実施する
- ・入所者が平日学習できない場合は土日に施行、他部署（相談員・事務員）からの応援体制をとり、週5回の学習を行う。通所者で希望される方には宿題（自宅学習用）として渡す

認知症の方は環境の変化に影響されやすく不安感が増強します。学習療法は脳機能の維持・改善目的と共に、安心して施設・事業所を利用して頂けるよう、また、1対1や2対1で利用者様とスタッフが向き合う事ができる学習時間中に、教材の内容や世間話などから利用者様のその人らしさを引き出し、施設での生活を生き生きと笑顔で過ごして頂くことを目標に行っています。

現在、学習療法は海外へも導入が広がり、アメリカの高齢者施設でのドキュメンタリー「僕がジョンと呼ばれるまで」が映画化され日本でも上映されています。ご機会がありましたら是非ご覧頂ければと思います。また、学習療法についてご不明な点やご興味がおありでしたらどうぞお気軽にスタッフにお尋ね下さい。



前列左から3人目：高ノ山

文化祭発表会

歳時記



飛騨高山高校生職場体験

慰問「コーラス翠陽」様

りんご風呂



餅つき大会

シエルブル



永年勤続表彰

勤続十年を迎えた職員三名の特別表彰が、十二月十九日ひだホテルプラザにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。おめでとございます。

介護老人保健施設それいゆ
主任保育士

水門 篤子

デイサービスセンターれざみ
介護職

井上 智司

折茂医院
看護師長

三尾 浩美

シヤロン・ド・ドそれいゆ

管理者 牧田 功

新年を迎え、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。例年になく暖かい年で、体調管理も大変な年となっております。

シャロン・ド・ドそれいゆも開設して三年を過ぎようとしております。まだまだ力不足の職員ばかりで皆様のお期待に添えているのかと心配しておりますが、毎年、外部の方に評価を頂きながらより良いサービスの提供が出来るよう改善に努めています。

小規模多機能型居宅介護は地域に開かれた施設として、また地域で安心して住んでいただくために必要な介護の提供を目指しております。

利用者様には少人数で家庭と同じような生活が送れるように、季節感に気を付けながらサービス提供しています。在宅への訪問も行っていきます。いつでも、気軽に、お越しいただければ幸いです。



りあん・どそれいゆ

管理者 小平 誠治



新年明けましておめでとうございませす。日頃より『りあん・ど・それいゆ』の運営にご協力・ご支援いただき、誠にありがとうございます。スタッフ一同心より感謝申し上げます。

この度、『りあん・ど・それいゆ』管理者を拝命いたしました小平誠治です。福祉の仕事は高齢者の分野で主に介護職員として十三年を超えましたが、『りあん・ど・それいゆ』には昨年十月に入社させていただきました。日常の介護業務に関しては、だいぶ慣れてきましたが、まだまだ分からないことが多く、正直不安な気持ちの方が大きい状況です。でも、難しいことはたくさんあると思いますが、一つずつ確実に、一日でも早く『りあん・ど・それいゆ』の管理者に、本当の意味でなれるよう努力していきたいと思っております。

さて、小規模多機能型居宅介護事業所『りあん・ど・それいゆ』も、昨年五月に開設しました。まだ新しい施設ですが、おかげ様で利用されるご利用者様の人数も増えてきました。

『りあん・ど・それいゆ』の『りあん』とは、仏語で『絆』という意味ですが、まさしく少しずつではありますが、様々な方々との『縁』を実感しているところでありませす。

そのなかで、ご利用者様により良いサービスが提供できるよう、また、地域の皆様との関わりを増やしていくべく、手探りしながら安全・安心な暮らしを第一に考えていきたいと思っております。皆様の御指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



デイサービスセンターべれる

管理者 南下 ひなよ

新年あけましておめでとうございませす。旧年中は格別なご高配を賜り、誠にありがとうございます。本年も皆様にとって良い年となりますようにご祈念申し上げます。

昨年十一月一日より中山町から昭和町にある複合型施設レザミひだメディケアガーデン北棟五階(503・504・505号室)へ移転し、丸一年が経過しました。当初は住み慣れた場所を離れ高層マンションでのご利用という事もあり、中核症状の一つである空間認識障害の出現により、落ち着かれない利用者様もおみえになりましたが、顔なじみのスタッフやご家族のご協力のお陰もあり、現在では皆さまが五階を認識して下さり、移転に伴い様々なリスクが考えられる中で、べれるとの信頼関係を信じ、在宅生活を継続して頂けた事は、ご家族のお力添えと感謝しております。

また、十年という節目の中で今振り返りますと、沢山の出逢い(であい)がありました。素敵な出逢う喜び(ご縁)に感謝し、本年も職員一同、同仁精神に基づき利用者様・ご家族との信頼関係の構築・利用者様が安心・安全に過ごして頂ける環境を整え、皆様のご期待に応えられるサービスを心掛ける所存でございます。何卒今までと同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*尚、見字につきましては随時承っております。お気軽にお問い合わせくださいませ。



ケアプランセンターそれいゆ

寺田 謹んで新年のお慶びを申し上げます。ケアマネとして色々なお悩みを伺い、一緒に考えながらサービス調整をしています。正解の無い事が多く、日々自問自答の繰り返しです。いつでも一緒に並んで歩きながらも少し先を照らすような介護を目指して今年も頑張りたいと思っています。今年もよろしくお願ひ致します。

鮎川 今年は暖冬とのことですが、皆様風邪などひかれませんようご自愛ください。今年も元気に頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

小林 今年も利用者様や家族様にとって笑顔多き年となりますように、より良いサービスが提供できるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

水波 利用者様を通じて、民生委員さんや地域の皆様方に温かい見守りとご協力を頂き、本当にいつも助けて頂き感謝しております。今年はいよいよ一層地域とご利用者様の繋がりを笑顔を大切にできるケアマネジャーを目指します！

井口 今年も利用者様ご家族との会話やご縁を大切に、一日一日充実した実り多き一年になるよう願っています。皆様の健康長寿をお祈りし、ケアマネとしてより良い生活をサポートできるよう頑張りたいと思います。

平田 新しい年に向かい心新たに利用者さんから「したい」「してみたい」と発信していただけるケアプランを目指していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

阪上 今年はさる年です。ご利用者様、ご家族様が希望に添った生活を送る事ができるよう、「病気の不安がさる」「介護の負担がさる」を目標に精一杯支援ができるよう努めたいと思います。



通所リハビリテーションセンター

介護長 柚原一仁

謹んで新年のお慶びを申し上げます。私は通所リハビリに携わり十六年目となりました。

当初は一日の利用者数が二名より始まりましたが、今では五十名を超える日もあり、慌ただしさの中にも緊張感を持ち仕事に励む毎日です。

私の役割の一つに新規利用者様の受け入れがあります。初めて利用される方には、安心して来ていただけるよう丁寧に説明することを、また職員には利用者様の情報を正確に伝達することを心掛けています。

通所リハビリ開所当時、利用者様の生年月日には明治生まれの方がかなり見受けられましたが、最近では昭和生まれの方が急増していることを実感しています。先日も私の知る限りでは当施設最後の明治生まれの方が亡くなり、一つの時代が終わったと思う出来事でした。

さて、それいゆ通所リハビリでは平成二十七年度は『相手の目を見て聞き、話す』を目標に掲げ取り組んでまいりました。忙しさからつい動きながらの対応や、離れた所からの声かけなどの点については、毎月のフロア会議に取り上げ話し合いを重ねています。

本年も皆様のご指導のもと利用者様の目線に立ち、敬う気持ちを持って対応させていただき笑顔あふれる一年となりますよう頑張ります。

病児保育室プティそれいゆ

管理者 白田陽子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。プティそれいゆが加盟している全国病児保育協議会では、「病児保育専門士」の認定制度が設けられています。これは病児保育の安全、安心な保育看護における専門性を高め、病児保育を通じて究極の子育て支援を行うことのできる保育士、看護師の育成のための制度です。

私は今、その病児保育専門士の資格認定にチャレンジすべく、講習会に参加しています。



「おはよう！」の挨拶とともに毎日違う顔ぶれでスタートする病児保育室。その

一日を普段とは違う環境で過ごす子どもたちが、安心して笑顔で過ごしながら体調の回復を図れるよう、またお父さんお母さんには、ここなら大丈夫！と信頼して任せていただけるよう、保育看護の知識と技術の向上に努め精進し続けます。(資格認定の決定は春：次回よい報告ができますように！)



ショートステイそれいゆ

相談員 中島 奈々

初春のお慶び申し上げます。
日頃はショートステイそれいゆをご利用頂きありがとうございます。

昨年三月より、相談員として仕事をさせて頂いております。介護の仕事に携わるのは初めてで、右も左も分からない状態でしたが、管理者を始めフロアスタッフの方より一から教えていただき早く一人前になれるよう努力してまいりますので宜しくお願い致します。

三月に入社し並行して初任者研修も受講しました。お一人お一人に合わせた対応の大切さ、出来ないことへの支援という言葉の重みを研修の中で一番感じました。出来ないことを探すよりも、利用者様の出ることを見つけ出しそれを維持出来るよう支援していくことが、認知症の進行を防ぎ出来ることの喜びも感じて頂く大切なことだと学びました。

コミュニケーション
についても、こちらから一方的に話しをするのではなく、視線を合わせ、気持ちをお聞きし、繰り返すことで利用者様の欲求を満たしていただけというところも学びました。

我が家とは違う場所で安心安楽に過ごしていただける環境づくりに努め、皆様との会話を大切にしたいと思っております。



それいゆ訪問看護ステーション

理学療法士 住田 真一

あけましておめでとございます。

皆さまには希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年もさまざまな出会いと別れがあり、ご利用して頂いた皆さまからたくさんのご言葉を学ばせていただき感謝しております。

さて二〇一四年の報酬改定で示された通り、在宅復帰の促進や入院日数の短縮がすすめられる中、在宅医療・介護の比重が益々高まり、質の向上と同時にチームメスな医療・ケアの提供が必要となってきます。

今後も制度は一層厳しくなることが予想されますが、今年も地域の皆さまに安心と満足を提供できるよう安全な看護・リハビリテーションに努め、皆さまに愛されるステーションとして、この地に存在していきたくと願っております。

どうぞこれからも、皆さまのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成二十八年が皆さまにとりまして良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 大洞 里奈

新年明けましておめでとございます。

昨年度は、医療法人同仁会ヘルパーステーションそれいゆをご利用いただきました利用者様、ご家族様、各関係者の皆様へ、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

現在、正社員四名、登録ヘルパー三名と変わらぬメンバーで日々の業務に取り組んでおります。在宅でのケアは、一対一になることが多く、信頼関係で成り立っていると思えます。二十七年度は、数々の利用者様より色々なことを教えていただき、改めて初心に戻ることができた一年となりました。

ある利用者様より「あんたたちの仕事はいろんな意味で大変やろ。何をしても言葉の使いようで、相手の気分を害することもあるし、気持ちを良くする事も出来る。全てが思いやりやな。」というお言葉を頂戴しました。日常生活の中でも、気付かない所で何気ない一言が相手を傷付けたり、一言が足らず不快な思いをさせてしまっている事はないかと考えながら事務所に戻りました。

スタッフ全員が、思いやりや敬う気持ちを忘れてはいないか、今一度考え直さなければいけないと思っております。

今後、「ありがとう」「また来てな」の言葉を励みに、利用者様、ご家族の皆様にご満足いくケアが出来るよう日々精進してまいります。

本年度も医療法人同仁会ヘルパーステーションそれいゆをよろしく願い致します。



Dr. Oursiebo Jyomen

介護主任 山下恵里子



新しい年を迎え、今年も一年、同仁会を支えて下さる皆様にとって佳き年となるようお祈り致します。
さて、私の勤務しております有料老人ホームは、自立で生活できる方はもちろんのこと高齢となり自立した生活が困難となられた方、胃ろうや点滴等の医療対応が必要となられた方、老健から退所され自宅での介護が難しい方が目的はさまざまですが多くの方にご利用いただいております。

最近では施設での看取りも増えております。人生の終末期にご利用者様の人生に寄り添い看取りの場を通して命の尊さを学び関われたことに感謝の思いをもって私たち職員も多くのことを学ばせていただいております。

看取られる方の人生を最大限に尊重すること、「最後まで人生を全うした」と思っていただけのようなケアを目指し、私自身も昨年、義父母を看取りその中で感じた経験を生かし、日々精進してまいりたいと思っております。



安心、安全なお住まいとしてご利用者様、ご家族様に信頼を寄せていただけるよう今年も職員一同、努めさせていただきます。



バイオステージンザミ

管理者 澤浦恒子

新年 あけましておめでとございます。

今年も利用者様に御満足いただけるサービスを提供してまいります。ヘルパーステーションシザミは、バイオステージン内活動しスタッフもピオのスタッフが時間になると居室に伺ってサービスを行っております。ピオステージンの理念には「愛のある、空間（へり）を目指すこと」とあります。選んでよかったと満足いただけるために、ご利用者が、安心、安全に過ごしていただくために、私たちスタッフは（心に寄り添う）をモットーに訪問をさせていただきます。

心に寄り添うとは…一緒に相手の進みたい方向に向けて支える事・共に感じ、歩む事です。ここでは、相手の話を傾け否定せずに聴くという事（傾聴）が基本になります。心により添う気持ちで傾聴させて頂くことで「コミュニケーション」の質が高まります。

訪問をさせて頂いている時には、ご利用者様の思いとのズレが生じることもあります。そんな時は利用者様がどのような気持ちでその行動をされているか？ということについて心に寄り添って考えるようにしています。それでもすべてが改善されない事もありますが、考え、その世界を受け入れようとすることが重要だと思っております。そうすると、利用者様も受け入れて下さいます。そして安心して頂き、信頼しように言いかけても持つて下さり一緒にいて心地よい関係になります。このように利用者様との関係を築き上げております。愛のある気持ちで信頼関係を深めます。大切な人だからこそ思いも尊重させて頂きます。
今年もそんなことを心がけて、皆様の居室にお伺い致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

デイサービスセンターれざみ

生活相談員 田之下 都

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
日頃はデイサービスセンターれざみ（デイれざみ）をご利用頂きまして誠にありがとうございます。スタッフ一同心より御礼申し上げます。

私もデイれざみが開設してから七年目のお正月を迎えます。当初は住宅型有料老人ホームピオ・メン（現在のDr. Oursiebo Jyomen）の御利用者様からスタートした事を思い出します。介護の仕事に携わるようになり、戸惑いもありましたが前向きな姿勢で、常に感謝の気持ちを忘れず、笑顔で業務に取り組んで参りたいと思っております。

私達は御利用者様を朝の送迎から一日が始まり、御自宅へ帰宅されるまで責任を持って日々努めております。他のデイサービスと違う点はサービス提供時間が三つの中から選択できる事です。

- ① 午前利用（八時四十五分～十二時）
- ② 午後利用（十二時三十分～十五時四十分）
- ③ 一日利用（九時～十八時〇五分）

特に半日デイ利用サービスは御利用者様におかれましても魅力的です。介護の基本となる「その人を知る事・自配り・気配り・心配り」を理念とし、ふれあいや交流活動を通じて笑顔の絶えないデイ・親しみある温かなデイ・御利用者様が思い出に残るようなデイを目指します。また、毎日懸命に介護をしておられる御家族様に少しでもレスパイトケア（休息・息抜き）の手助けとなる支援をさせて頂きながら皆様との信頼関係の構築・御利用者様の安心・安全を心がけて過ごして頂きますよう職員一丸となって一生懸命に熱意を込めて毎日の仕事に励んで参りたいと思っております。何卒今年も同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新しいメンバーが増えました！

昨年八月からデイサービスれざみに勤務させていただき、特養との違いに戸惑いながら毎日勉強させていただきました。御利用者様に笑顔で過ごして頂けるよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。
長瀬好子





第7回 レザミひだメディケアガーデン 文化展について

番外編

今年7回目を迎えたレザミひだメディケアガーデン文化展は、「みんなで楽しく遊ばしましょう！」をテーマに、11月13日（金）午後～20日（金）午前まで開催されました。

今年は、作品の展示だけでなく多種多様な文化活動を企画し、ご入居者様、ご近隣長寿会の皆様、また市民時報をご覧いただいた皆様方にもご参加いただき賑やかで楽しい文化展となりました。

作品展では、ご利用者様はもちろんご近隣の皆様方も作品を出品して下さい、職員の作品も含め合計120点程の力作を展示し、多くの方々の目を楽しませていただきました。

また、文化活動では、日替わりでそれぞれ午前、午後の2回ずつ4つの講座を開きました。『いきいき健康体操』、『押し花を使ったキーホルダー作り』、『針を使わない編み物をしましょう』、『飛騨のわらべうたと手遊びで昔を思い出しましょう！』、と各講座の講師の先生をお招きし、ご参加いただいた皆様は、楽しく、また真剣に取り組んでおられ、出来上がった作品はとても満足され大切に持ち帰られました。飛騨のわらべうたは、子供の頃を思い出され懐かしそうに歌われてる方もいらっしゃいました。

また、毎年恒例の『裏千家 谷口宗美御社中の皆様によるお茶席』も趣のある雰囲気の中大勢の方にお茶会を楽しんでいただきました。このような多様な催しを開催いたしました。多数のご参加をいただき成功裏に終えることができました。ご協力をいただきました講師の先生やスタッフ関係者の皆様に感謝申し上げます。



いきいき健康体操



押し花キーホルダー作り



お茶会



飛騨のわらべうたと手遊び



作品展



針を使わない指編み



あけましておめでとうございます。
今年はずいぶん暖かなお正月となりました。例年では身の凍える寒さの中で新年の誓いを立てたものですが、慣れ親しんだ季節の移ろいに肩透かしをされた感覚で、次々と変貌する世の新たな幕開けを迎えました。
今年の理事長からの年頭あいさつで、思いや願いは必ず通ずる、また、何か頑張りたいという気持ちを持ってそのことに励む様に、との言葉がありました。
世界規模で様々な環境や経済が変動していく中で、自分が信じ目指すものを見失わず励むことを実践していきたいものです。それが生きていく上で糧となり、変化に振り回されずに暮らしていけるのではないのでしょうか。
変革の年と言われる二〇一六年、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう志を高くもって努力して参ります。皆様、よいお年をお過ごし下さい。

編集*
後記*

